

授業科目名 (英語表記)	経済立地論 (Location Theories)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	藤田 和史		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	1日目 4月10日(土) 13:00~17:00		
	2日目 4月24日(土) 13:00~17:00		
	3日目 5月8日(土) 13:00~17:00		
【授業の概要・ねらい】			
この授業では、人間の経済活動とその中心である集落・都市の立地について、産業別、および形態別に立地の規則性に関する理論を学ぶ。			
具体的には、農業・工業・商業の各産業の立地論、そして中心地理論について、その理論的系譜および応用分析・実態例についてテキストの輪読をしながら学んでいく。マッカンのテキストによる数理的なモデルにも言及するが、極力数学的な手法は使用せずに解説することにした。			
【授業計画】 ※記載の内容は変更することもあります。			
第1回 農業立地① チューネンの農業立地論の概要・意義			
第2回 農業立地② チューネン圏の事例・チューネン理論と現代日本の農業			
第3回 工業立地① ウェーバー工業立地論の概要・適用事例			
第4回 工業立地② ウェーバー以降の工業立地論・現代日本の工業立地の実際・工業立地の要因と大工場の立地事例			
第5回 中心地理論① クリスタラーの中心地研究の目的と特徴・理論の概要			
第6回 中心地理論② 中心地理論の実証研究・商業、サービス業の立地と中心地理論・地域計画と中心地理論			
第7回 オフィス立地① オフィス就業者の定義と研究の意義・オフィス立地に関する諸理論			
第8回 オフィス立地② 大企業の本社立地・支店立地			
【到達目標】			
農業・工業・商業の立地にかかる理論を、説明できること。中心地理論を用いて、都市の立地について説明できること。			
【教科書】			
いずれかの予定です。			
富田和暁 2006.「新版 地域と産業 経済地理学の基礎」原書房。(書籍絶版、オンデマンド版で購入可能)			
松原 宏編著 2013.「現代の立地論」古今書院.			
【参考書・参考文献】			
マッカンの, P. 著 黒田・徳永・中村訳 2008.「都市・地域の経済学」日本評論社.			
鈴木洋太郎 2009.「産業立地論」原書房.			
【履修上の注意・メッセージ】			
岸和田サテライトでの授業です。積極的な参加を期待します。			
【受講を推奨する関連科目】			
経済地理学、地域産業論、地域解析演習など			
【授業時間外学修についての指示】			
テキストの精読を求めます。また、テキストに記載される参考文献の精読も求めます。			
【授業時間外学修についての注意事項】			
産業立地、中心地理論に関する文献は大量にあるので、1冊・1本でも多くの文献に触れることを望みます。			
【成績評価の方法・基準】			
提出されたレポート課題(100%)によって評価します。			
【授業理解を深める方法】			
⑧学生による発表をともなう学習 ⑨複数の領域にまたがる解法を必要とする学習			
【履修を推奨する関連科目】			
経済地理学、地域産業論、地域解析演習など			
【オフィスアワー】			
岸和田サテライトでの授業ですので、質問等は授業の前後に受け付けます。また、メール・Teamsでも随時受け付けます。			
【学習方法と内容】			
テキストの輪読を行います。担当者は、担当箇所について関連文献と併せて概要を報告し、論点を提示した上で議論します。			